

03 歴史展示推進のための
具体的整備

飛鳥京跡苑池の整備



■飛鳥京跡苑池の機能

飛鳥京跡苑池は、齊明天皇期に造営された飛鳥時代を代表する苑池遺構であり、平成15年に史跡・名勝の指定を受けています。

飛鳥京跡苑池を復原整備するにあたっては、史跡指定地等の公有化、発掘調査とともに、飛鳥京跡苑池の保存と活用に向けた理念及び方針(「基本構想」)を策定し、それを踏まえた復原整備の基本計画・実施計画を策定のうえ、奈良県として復原整備を行います。

発掘調査等を踏まえる必要があるため、現時点において具体的な整備内容を確定することはできませんが、飛鳥京跡苑池に以下の機能を持たせる方向で、今後検討を進めていきます。

■歴史体感機能

飛鳥京跡苑池の当時の様子を、バーチャル映像等により再現し、苑池について理解を深めてもらいます。

■歴史展示機能

苑池遺跡の発掘・調査・研究成果を紹介するとともに、万葉文化館と連携してテーマストーリーを切り口に苑池の歴史的意義を展示します。映像やQ&A形式等の手法を用い、楽しみながら歴史に触れてもらえるよう工夫します。

■周辺史跡の案内・紹介機能

周辺には、伝飛鳥板蓋宮跡等の重要遺跡が多数存在するため、飛鳥京エリアの解説・案内機能を持たせます。

■付加的機能

後述する回遊コースでの便益サービス拠点として、トイレ・休憩コーナー等を設置します。また、各種イベント・プログラムの実施等についても今後検討を進めます。

飛鳥京跡苑池 復原イメージ(案)

【今後の検討課題】

- ・建物の復原
- ・苑池公園内の動線
- ・苑池への来訪者の動線
- ・開設後の維持管理
- ・南池への水供給
- ・飛鳥川の整備
- ・西側エリアのあり方(便益施設等の検討など…

北池等については、池が広がっていたことがイメージできるような、何らかの表示を行う。
(例えば、石垣により、池の範囲を地表に明示するなど)

H11年6月 現地説明会の様子



吉野川分水



流水施設、石槽などをレプリカ展示する

南池
復原

南池については、遺構の上に本来と同様の材料を用いた一種のレプリカを被せる手法で復原する

水路

島状高まり

北池

飛鳥川

【飛鳥川整備イメージ】

- ・自然石を用いた親水護岸の整備



榎考研作成の想像図



史跡指定地はすべて買収する

飛鳥京跡苑池復原イメージ図(基本方針より)

飛鳥京跡苑池 情報館のイメージ

歴史に関する展示機能と快適な周遊を行っていただくために必要なトイレや休憩機能などを備えた情報館の整備について、今後検討を進めていきます。

■飛鳥京跡苑池に関する展示コーナー

苑池遺跡の発掘成果等を紹介するとともに、「国家の成立」や「東アジア文化の受容と変容」という歴史テーマを切り口に苑池の歴史的意義を解説します。展示手法としては、映像や歴史の内容をQ & Aにしたためくりパネルなどを取り入れ、楽しみながら歴史に触れてもらえるよう工夫します。



周辺史跡の解説

バーチャルスコープ

周辺史跡の解説

テーマ展示コーナー
「東アジア文化の受容と変容」

飛鳥京跡苑池の紹介コーナー
発掘の成果等の紹介

テーマ展示コーナー
「国家の成立」

■休憩コーナー

休憩のためのソファ、飲み物の自動販売機を設置し、観光案内マップやパンフレット類も配置します。

■周辺史跡の紹介コーナー

飛鳥京跡苑池に隣接する伝飛鳥板蓋宮跡をはじめ、周辺の飛鳥寺、蘇我入鹿首塚、川原寺、飛鳥水落遺跡、石神遺跡などの解説も行います。

■バーチャルスコープコーナー

復原された苑池方向のスコープをのぞくと、当時の人々が宴を楽しんでいる映像が実際の風景にオーバーラップされます。また、伝飛鳥板蓋宮跡方向のスコープをのぞくと、遺構に当時の宮殿の映像がオーバーラップされます。



